

# 2026 年 7 月 3 日（許可日）から 2028 年 3 月 31 日の間に岡山大学 において献体された方のご遺族の方へ

## — 「鷺足温存下低侵襲高位脛骨骨切り術の生体力学的有用性の探索的検証：cadaver 研究」 へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信  
研究責任者：岡山大学病院 整形外科 助教 平中 孝明

### 1) 研究の背景および目的

膝の変形に対して行われる高位脛骨骨切り術は、関節を温存する治療法として広く行われていますが、手術の精度や周囲の軟部組織への影響についてはさらなる検討が必要とされています。この研究では、特に膝の内側にある腱（鷺足）を温存した状態での手術に着目し、その影響が骨の安定性や力のかかり方などのように関係するかを検証することを目的としています。この研究により、より安全で再現性の高い治療法の確立につながることを期待されます。なお、この研究にご協力いただいた場合でも、その他の臨床応用解剖はこれまで通り行われ、不利益が生じることはありません。

### 2) 研究対象者

2026 年研究機関の長の許可日から 2028 年 3 月 31 日の間に岡山大学において献体された方のうち、生前に臨床応用解剖に供されることについて同意が得られており、ご遺族の了承が得られている方を対象とし、5 名を予定しています。

### 3) 研究期間

研究機関の長の許可日から 2029 年 6 月 30 日  
試料・情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

### 4) 研究方法

献体されたご遺体を用いて、高位脛骨骨切り術を再現し、骨にかかる力や骨切りの精度を評価します。

### 5) 使用する試料

献体されたご遺体の両側下肢を使用します。

### 6) 使用する情報

この研究では、献体時に取得された以下の情報を使用する場合があります。氏名、生年月日などのご遺体を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、ご遺体の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年代、性別

### 7) 試料・情報の保存

研究で使用した試料・情報は、研究の中止または終了後5年間、岡山大学整形外科学教室内で適切に管理された状態で保存します。電子情報はパスワード管理されたコンピュータで保管し、紙媒体は施錠可能な場所に保管します。

#### 8) 二次利用

この研究で得られた試料・情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

#### 9) 研究資金と利益相反

この研究は、共同研究機関であるオスフェリオンバイオマテリアル株式会社より資金提供を受けて実施します。この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

私たちはこの研究によって特許を得る可能性があります。ただし、その権利は岡山大学に帰属します。研究対象者の方には帰属しません。

#### 10) 研究計画書および個人情報の開示

ご遺族のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、ご遺族が希望される場合にのみ行います。ご遺族の同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、ご遺体の試料・情報が研究に使用されることについて、ご遺族もしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

#### <問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 整形外科

氏名：平中 孝明

電話：086-235-7273（平日：8時30分～17時15分）

#### <研究組織>

主管機関名 岡山大学病院

研究代表者 岡山大学病院 整形外科 平中 孝明

共同研究機関

オスフェリオンバイオマテリアル株式会社 商品開発部 黒田宏一